

# 第1学年英語科学習指導案

日 時：平成20年10月14日（火）

場 所：一関市立興田中学校1年A組教室

学 級：1年A組（男子14人 女子19人 計33人）

授業者：教諭・石田 克幸

ALT・David Statz

## 1. 単元名

Unit.6 グリーン家の人々 Part 3 トロントはどんな町？

(NEW HORIZON English Course 1 東京書籍)

## 2. 単元について

### (1) 教材について

本単元では、グリーン家を取り上げ、「家族」について述べており、グリーン先生の妹 Lisa やその夫である Koji について紹介する本文の内容は、学習する生徒にも身近な話題である。また、紹介される人たちはカナダ在住であり、本文中では歌舞伎・漢字について触れるなど、外国との文化的接点も、その内容として取り扱っており、国際理解の入門としての役割も果たすことができる。

言語材料としては、一般動詞の三人称・単数・現在形が扱われている。I、You を基本の主語としてきたこれまでの本文とは、大きく異なる点であるが、日常において、「私・あなた」以外について述べる機会は多く、しっかりと定着させることで、コミュニケーションにおいても会話を大きく膨らませることができる文法事項と言える。しかし、一方で初期の英語学習者が、日本語との大きな違いを実感し、最初につまずきを覚える代表的な文法事項である。そこで、わかりやすい例文の中で、日本語との比較よりも I・You を主語とした文との比較から、その違いに対する気付きを促したい。また、徹底した口頭練習を通じて、慣れることからその理解・定着を図りたい。

### (2) 生徒について

本学級の生徒は、小学校からの英語学習における素地がある程度できており、簡単な自己紹介・Q&A であれば、入学時から既にできていた。しかし、入学当初に実施した英語学習に対するアンケートにおいては、33名のうち、3名が「好き」、8名が「どちらかといえば好き」、あるいは1名が「得意」、3名が「どちらかといえば得意」と答えており、英語学習に対する期待や不安感を抱えながらのスタートとなった。例えば、次のような声があがっていた。「おもしろいけど、難しい・わからない。」「読むのは好き、話すのは苦手。」「発音が難しい。」「Game は楽しいが英語は難しい。」などである。その内容の多くは、音声に関するものだった。加えて、小学校からも、英語使用場面に限らず、人前で話すことについては苦手としている生徒が多いという報告を受けている。

そこで、小学校での学習内容を思い出すこと・中学校英語学習の入門期の意識向上を主眼として、4月中は ALT との簡単な音声練習・言語活動を繰り返し行なった。音声指導に重点を置き、「声を出して読む。」「英語らしい発音で読む。」「会話 (Q&A・紹介等) ができるようになる。」ことに、特に力を入れて指導してきた。また、教科書内容は5月に入ってから取り扱い始め、併せて本文の暗唱テストも実施してきた。生徒は、休み時間に教科担任や学級常駐の支援員のもとを訪れ、意欲的にテストに臨んでおり、苦手意識も徐々に軽減されてきていることを感じる。「書くこと」についての指導は、これまでは基本本文を中心として最小限とし、家庭学習として課しているワークの取り組みで補ってきた。

約半年の英語学習を経て、先日9月末に、同様の項目で2度目のアンケートを実施した [別紙参照]。すると、英語学習に対しては、10名が「好き」、13名が「どちらかといえば好き」、1名が「得意」5名が「どちらかといえば得意」と解答しており、生徒の意識の変化を確認できた。音声指導に重点を置いて指導したためか、「話せるようになりたい」という生徒の欲求と学習の成果は一致していた。また一方で、苦手を訴える生徒についても、指導の重点からは外していた「書くこと」に対してのものであり、欲求を覚えている今が、指導のチャンスでもあると感じている。

今後も音声指導を中心とした授業を展開していくつもりであるが、学習に対する欲求などの実態に併せて、「書く力」の向上も、同時に図っていく必要があると考えている。

(3) 指導の構想

昨年度のプロジェクトチームでは、2 学年生徒を対象に「読むこと」(内容理解と音読)の指導、まとまりのある **Reading for Communication** の本文の概要把握と音読に重点を置いた指導のあり方が研究された。本年度も同様に「読むこと」を取り扱い、特に、英語学習入門期の1 学年生徒を対象に、英語らしい発音・正しい強勢・イントネーション・区切りで読めることを目指し、生徒が意欲的に練習・発表できることを促すような指導をしていきたい。

また、中学校から始まる英語学習が「中1ギャップ」の一因として考えられることから、楽しさや充実感を味わわせられる授業を展開し、「英語を好きなままにいる生徒」「好きになった生徒」を育て、「中1ギャップ」の予防にも努めている。

本時の具体的な活動としては、Lisa の夫 Koji とその友人 Bin に関して、PC を用いての Q&A を介した **Oral Interaction** を行い、スキーマの活性化を図った上で、本文内容の自力読解に努めさせると共に、チャンクを意識させての音読、主語・接続詞を残しての文の再構成の活動をするなどして、文の連続性や前後関係についての気づきを促し、その結果として、本文の暗唱、表現の力の向上を図っていきたい。

3. 単元の目標

- (1) 一般動詞の三人称・単数・現在形の文の形や意味、用法を理解し、それらを用いて友人や家族について紹介・質問することができる。【言語・文化に関する知識・理解】
- (2) 本文の内容や一般動詞の三人称・単数・現在形を含んだ英文を聞いたり、読んだりして、内容を理解することができる。【理解】
- (3) 本文を英語らしく(発音・正しい強勢・イントネーション・区切り)音読・暗唱することができる。【表現】

4. 単元の指導と評価計画 (8 時間)

	時間	ねらい 学習内容	評価規準			
			関心・意欲・態度	表現の能力	理解の能力	言語・文化
導入	1	グリーン家の人々について書かれた本文を読み、概要を把握することができる。 【単元の見通し】			グリーン家について書かれた本文を読み、それについての質問に答えることができる。	
Part 1	1	一般動詞の三人称・単数・現在形の文の形や意味・用法を理解し表現できる。		一般動詞の三人称・単数・現在形を用いた文を正しい発音で、音読することができる。 【/s/ /z/ /iz/ /ts/】		一般動詞の三人称・単数・現在形を用いた文の形や意味・用法を理解することができる。
	1	グリーン先生の妹 Lisa について書かれた本文の内容を理解することができる。	意欲的に音読練習に取り組むことができる。		一般動詞の三人称・単数・現在形を用いた文を聞いたり・読んだりして、その内容を理解することができる。	
Part 2	1	一般動詞の三人称・単数・現在形の疑問文の形や・意味・用法を理解し、表現できる。		一般動詞の三人称・単数・現在形の疑問文を、正しいイントネーションで、音読することができる。 【疑問文文末のイントネーション】		一般動詞の三人称・単数・現在形の疑問文を用いた文の形や意味・用法を理解することができる。
	1	本文の写真についての対話の内容を理解することができる。	意欲的に音読練習に取り組むことができる。	本文の対話の内容を把握し、正しい発音で、音読できる。 【/r//l/】		

Part 3	1	一般動詞の三人称・単数・現在形の否定文の形や・意味・用法を理解し、表現できる。		一般動詞の三人称。単数・現在形の否定文を用いた文を正しい強勢で音読することができる。		一般動詞の三人称・単数・現在形の否定文を用いた文の形や意味・用法を理解することができる。
	1 (本時)	Lisa の夫 Koji について書かれた本文の内容を理解することができる。		正しい発音・強勢・イントネーション・区切りで本文を音読することができる。	本文の内容を読み、質問に答えることができる。	
LP2・単12のまとめ	1	一般動詞の三人称・単数・現在形を用いた文に留意しながら、友達のプロフィールを聞き取ることができる。 一般動詞の三人称・単数・現在形の形・意味・用法を理解し、それを用いて表現することができる。		一般動詞の三人称・単数・現在形を用いて、自分の家族や友人を紹介する、まとまりのある英文を書くことができる。	一般動詞の三人称・単数・現在形に留意しながら、友達のプロフィールを聞き取ることができる。	

## 5. 本時の指導計画

### (1) ねらい

- Lisa の夫 Koji について書かれた本文の内容を理解し、質問に答えることができる。【理解】
- 一般動詞の三人称・単数・現在形に留意しながら、本文を正しい発音・強勢・イントネーション・区切りで、音読することができる。上位の生徒に対しては、暗唱することができる。【表現】

### (2) 具体的評価規準

評価規準	評価基準		援助
	十分満足できる (A)	概ね満足できる (B)	努力を要する生徒への支援 (C)
① Lisa の夫 Koji について書かれた、本文の内容を理解することができる。	① 本文の内容について正確に読み取り、英問英答することができる。	① 本文の内容について、概ね読み取ることができる。	① Oral Introduction の場を設け、文字に加え、音声でのアプローチをし、スキーマの活性化を図る。
② 本文を、正しい発音・強勢・イントネーション・区切りで音読(暗唱)することができる。	② 本文を、正しい発音・強勢・イントネーション・区切りで暗唱することができる。	② 本文を、正しい発音・強勢・イントネーション・区切りで音読することができる。	② ペアでの練習の場を与える。また、机間巡視をして、音読指導をする。

### (3) 本時の指導の構想

本時の目標を達成するために、以下の点に留意して指導する。

- ① 授業の初めには、前時までの Unit. 6 での学習内容を想起させながら、音読練習をする。
- ② 本文の内容については、【PC】を用いて Q&A を介しての Oral Introduction を行ない、スキーマの活性化を図った上で自力読解を促し、また普段使っている Game のシートを用いて、簡単に押さえさせる。そのシートを用いることで、本文内容についての英問英答・表現・暗唱をしやすくする。
- ③ チャンクを意識させての音読、主語・接続詞を残しての文の再構成をするなどして、文の連続性や前後関係についての気づきを促し、その上で、十分な口頭練習を行い、本文の暗唱、表現の力の向上を図る。

(4) 展開

	学習内容	学習活動と評価	指導上の留意点 (評価の観点=◎)
導入 13分	1. あいさつ  2. Review  3. Game	元気よくあいさつをする。 課題点検を受ける。  前時までの復習  三単現の S を含む肯定文・否定文を取り扱ったゲームを復習として行なう。 【インタビューゲーム】	ワーク P.50 の点検を簡単に行なう。  意欲的に言語活動をしているか？
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 0 auto;"> <p>【学習課題】 本文の内容を理解し、その内容が表現されるように、正しい発音・強勢・区切りでなめらかに読めるようになる。【理解・表現】</p> </div>			
展開 32分	5. 本文の内容理解 (1)概要把握 ①Oral Introduction  ②本文の自力読解  ③語句の意味確認  (2)英問英答  (3)口頭練習  6. 音読練習【開本】 (1)新出語句  (2)本文  7. 音読練習【閉本】 (暗唱に向けて)	本文に関する Oral Introduction を行い、スキーマの活性化を図る。  学習シートに従い、○×を記入。  教師と Q&A をしながら口頭で。  本文内容についての英問に対して英答する。(Yes/No) 答え合わせ。  (2)の活動の内容を、Yes/No から自分が紹介する文へと変換させ、口頭練習する。  ①【FC】 Repeat ②意味確認 (Oral) ③Pair Work ④Flash ⑤Individual Reading (1人1語)  ①【PC】 Model Reading ②Repeat ③Choral Reading ④Pair Work ⑤Shadow Reading ⑥Choral Reading ⑦Buzz Reading ⑧Individual Reading (発表) ⑨Read & Look Up  ①【PC】 J→E (Q&A を介して) ②Repeat ③Repeat (情報を減らしながら) ④Model Reading ⑤Choral Reading ⑥Buzz Reading ⑦Individual Reading (発表)	◎ [読むー理解] 評価方法：観察 支援：Oral Introduction  根拠箇所にアンダーライン 例文を示す。  Yes/No で良いものとする。 内容理解を重視。  英語らしさに留意 【辞書】  英語らしさに留意 【発音・強弱・イントネーション・区切り】 【チャンク】 【Time Pressure】  【閉本】【PC】 接続詞から文の連続性・前後関係をとらえる。 単語1つ1つではなく、チャンクごとに。  ◎ [読むー表現] 評価方法：観察・発表 支援：ペアワーク 机間指導

終 末 5 分	8. 本時のまとめ	次時の活動【友人や家族の紹介文】にむけての準備。	本文に習ったフォーマットを与え、構想・イメージ作り。
	9. 次時の予告 課題の確認	家族や友人の紹介文 家での音読	
	10. あいさつ	元気よくあいさつをする	

(5) 板書計画

学習課題		PC
表	例文など	<p>本文の FC (チャンクごと)</p> <p><u>Koji</u> / has a Chinese friend / in Toronto.</p> <p><u>Koji</u> / doesn't speak Chinese /</p> <p><u>and</u> / <u>his friend Bin</u> / doesn't speak Japanese.</p> <p><u>But</u> / <u>they're</u> / good friends.</p> <p><u>They both</u> / speak English.</p>